

この PDF は以下の書籍の II-3 「この人はだれですか?」 (pp.11-12)を抜粋したものです。
長田俊樹 & Madhu Purti. 2022. 『ムンダ語 夏期言語研修ムンダ語教本』. 府中: 東京外国
語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

3 この人はだれですか？

例文

1. *nii' do okoe?*
2. *nii' do muṅḁa hoṛo*
3. *ini' do okoe?*
4. *ini' do uraon hoṛo*
5. *hani' do okoe?*
6. *hani' do japani*

和訳

1. 「この人はだれですか？」
2. 「この人はムンダ人よ。」
3. 「その人はだれですか？」
4. 「その人はウラオン人よ。」
5. 「あの人はだれですか？」
6. 「あの人は日本人よ。」

有生指示代名詞・無生指示代名詞の相違

前章では「これなあに」を覚えました。ここでは、「この人だあれ」を覚えます。

日本語の指示代名詞「これ」はふつう物をさします。人間をさすときは「こいつ」あるいは「この人」となります。ムンダ語の指示代名詞では、人間と非人間の区別ではなく、生命があるもの（有生指示代名詞と呼びます）と、生命がないもの（無生指示代名詞と呼びます）の区別をします。*nea* 「これ」は人間や動物などの生命があるものをさすことができません。人間などの有生名詞をさすときには *nii'* 「この人、あるいはこの生き物」を使います。*ena* 「それ」*hana* 「あれ」も同様で、有生名詞では *ini'* 「その人」*hani'* 「あの人」となります。以下に図示します。

有生指示代名詞 (Animate Demonstrative)

1. この人 *nii'*
2. その人 *ini'*
3. あの人 *hani'*

無生指示代名詞 (Inanimate Demonstrative)

1. これ *nea*
2. それ *ena*
3. あれ *hana*

なお、ムンダ語では、母音のうち *i* と *e*、そして *e* と *o* は単語（より正確には形態素）内で、共起できません。つまり、**eni*’ という形は許されません。こうした母音の現れ方にある種の制限がある現象を母音調和といいます。

民族名やカースト名を覚えよう

インドでは、憲法によって、カーストは否定されているのですが、実際には、今でもカースト制度が歴然とあります。それぞれの民族やカーストは人々のアイデンティティと関連しています。ムンダ人の周りには、オラオン人やサンタル人などの先住民 (*ādivāsī* と呼ばれている) やヒンドゥー教徒、回教徒 (ムスリム)、そしてキリスト教宣教師である西洋人などがいます。ムンダ語の呼び名を覚えましょう。

muṇḍa ムンダ人
uraon オラオン人
santa/ santara サンタル人
diku ヒンドゥー教徒 (もともとは「よそ者」の意味)
turku 回教徒 (ムスリム)
sayob 西洋人 (もともと *sahib*)
japani 日本人

練習問題

1) 次の文章をムンダ語に訳しなさい。

1. この人は誰ですか。この人は西洋人です。
2. その人は誰ですか。その人はムスリムです。
3. あの人は誰ですか。あの人はムンダ人です。
4. この人は誰ですか。この人は日本人です。

2) 次の文章から、有生指示代名詞を使って、ムンダ語で表現してください。

あなたは今自分の家にいます。あなたの家を人が訪ねてきました。あなたの玄関に三人の人が立っています。一番手前にムンダ人が、真ん中に日本人が、そして一番遠いところに西洋人が立っています。この位置で、ムンダ人、日本人、西洋人をムンダ語の有生指示代名詞で表現してみましょう。